

市議会の動き

平成19年度一般会計
補正予算などを可決
～平成20年第1回定例会

2月13日に招集された第1回定例会の中から、
3月10日までに議決された議案などについて
お知らせします。なお、3月11日以降の内容は、
5月号でお知らせします。

編集●札幌市議会事務局 ☎211-3164 FAX218-5143 市議会ホームページアドレス●www.city.sapporo.jp/gikai

代表質問から

今回の定例会では、二月二十日から
二十二日まで三日間の日程で代表質問を
行いました。
その中から主なものをお知らせします。

8020を目指す 歯の健康づくり

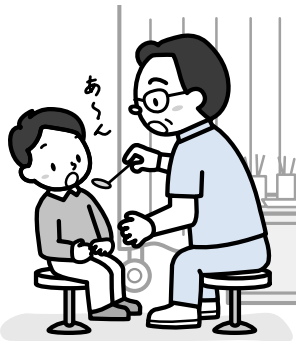
恩村 一郎 民主党・市民連合

問 国の健康づくりの施策の一つとして、8020運動というものがある。これは、八十歳になっても自分の歯を二十本以上保つという、歯の健康づくりの行動目標であり、今年で二十年目になる。

札幌市の健康づくりの基本計画である「健康さっぽろ21」では、市民の健康づくりを進めていく上で重要な課題を、歯の健康など九つの領域に分けて構成し、取り組みが進められている。健康な歯の維持への関心が高まりつつあるなか、札幌市では、歯周疾患検診事業の対象年齢を、平成十七年度に四十歳・五十歳だけから六十歳・七十歳の方まで拡大したが、十年に一度の検診ということもあり、受診者が少ないと聞いている。

定期的には口の中のチェックを行うことは、広く健康づく

りを進める上で非常に大切であり、そのためにも札幌市民に歯周疾患検診を活用してもらいたい。札幌市として、8020を目指した今後の歯の健康づくりをどのように取り組む考えているのか伺いたい。



答 歯の健康づくりは、市民の健康維持・増進を図る上で大変重要であることから、「健康さっぽろ21」の重点取り組みの一つに位置付け、各区の保健センターで行う健康教育や相談事業および歯周疾患検診などを通じて、8020の実現に向けて取り組んできたところである。

8020を達成するためには、歯周病を予防することが第一であり、清潔保持のためには歯磨きとともに歯周病の発

症や進行を早める「たばこ」を吸わないことが重要である。今後は、歯科医師会などの関係機関と協力して、「たばこ対策」とも連動させながら、歯周病に関する正しい知識の普及・啓発を進めていきたい。

中央区民プール・ 中央区民体育館

長内 直也 (自民党)

問 本市議会では、利用者などの声を受けて、メルパルク札幌のプール存続を求める意見書を平成十八年の第四回定例会において全会一致で可決した。

郵政公社は地域の願いを最大限に考慮し、メルパルク札幌をプールの存続を条件として売却したが、このたび、後継施設の建設計画が明らかになった。

従来、メルパルク札幌は中央区の区民プールの位置付けであったことから、当然、新しい施設も中央区民プールとしての期待が大きい。しかしながら、このプール施設に対して、札幌市が今後の中央区民プールの考え方や見通しを明らかにしていない。

そこで、市民の期待に応えて、このプール施設を中央区

民プールとして位置付けていくことについて、見解を伺いたい。関連して、老朽化している中央体育館について、今後の移転改築を含めた方向性について伺いたい。



答 中央区民プールについては、昨年三月末に閉館となったメルパルク札幌跡地で、現在、民間企業によりプールを含めた大規模集客施設の建設計画が進められている。このうち、プールについては、入札条件として、特定利用者のみに限定せず、地域住民を含む一般客が利用できるよう、既に申し入れている。そこで、今後、このプールがどのような形態で市民に開放されるかなど、詳細を把握した上で、現在中央区の公的温水プールとしているサンシャインスポーツクラブを含め、その位置付けを検討したいと考えている。

中央区民体育館については、